

こんにちは

日本共産党

日本共産党
横浜市議員団
2009.12.16号

横浜市中区港町1-1(市庁舎内)
電話 671-3032 FAX 641-7100
E-mail: info@jcp-yokohama.com
http://www.jcp-yokohama.com/

横浜市議団です

横浜駅周辺 大改造計画

総事業費8000億円

あやしい年間5900億円の経済効果

横浜市は、横浜駅周辺の20年後を見据えた再整備計画である「横浜駅周辺大改造計画」の総事業費を8000億円、経済効果を年間5900億円と見込んでいることが、明らかになりました。

8日の市議会のまちづくり調整・都市整備・道路委員会で、都市整備局の鈴木伸哉担当理事が、議員の質問に答えたものです。

横浜市や国、県、鉄道事業者、大学教授らでつくる「横浜駅周辺大改造計画づくり委員会」は、2007年5月から今年11月まで13回協議をかさねて計画をまとめ、今月1日林市長に提出。それを基に横浜市が試算したものです。

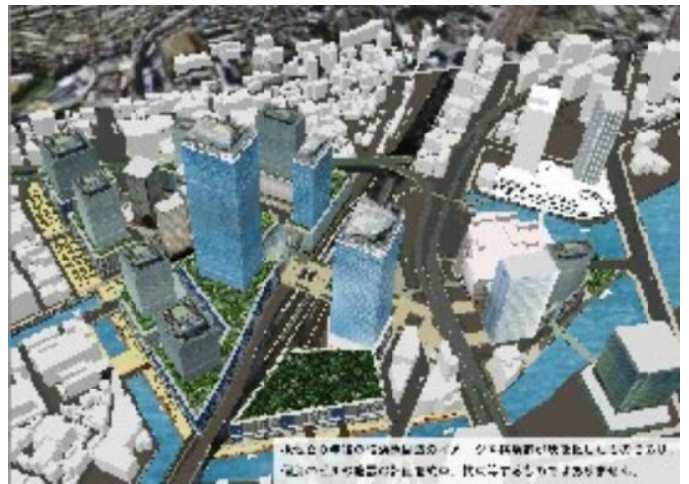
基盤整備に3000億円

事業費の内訳は、基盤整備3000億円、建物など再開発5000億円の官民合わせて合計8000億円。このうち、基盤整備費は公費負担で行い、ビル整備などにも助成などのかたちでの市税投入が考えられます。

一方、3万7000人の雇用が生まれ、年間5900億円の経済波及効果のほか、年間130億円の固定資産税や市民税などの市税収入増加が見込まれ



同イメージ図。プロジェクト名「エキサイトよこはま22」は市民からの募集をもとに決められました。(横浜市提出資料より)



横浜駅周辺大改造計画が構想する20年後の横浜駅周辺の建物群の上空からのイメージ図。(横浜市提出資料より)

るとしています。

計画は、横浜駅を中心とする約100ヘクタールのエリアの再整備で、駅の東西を結ぶデッキ、東西駅前広場の再整備、地下街と駅中央通路の接続、親水空間の整備、治水対策などとなっています。しかし、イメージ図では高層ビルが立ち並び、人工的で無機質的な風景が浮かんできます。

経済効果は『採らぬ狸』の皮算用?!

大貫憲夫日本共産党市議団団長は、「これは、中田前市長の有り難くない置き土産。みなとみらい(MM)21計画でも事業費はどんどん膨らんだことから、大変な金食い虫になることは必至。MM21計画の結果をみれば、雇用創出や経済波及効果の試算が『採らぬ狸』の皮算用であることは明白」と述べています。

来年度早々、実行計画を指揮する官民参加の新組織をつくり、同時に、新年度予算に一部の案件について調査費を計上するという事です。市民が不況にあえいでいるいま、巨額の市税を投入してやるべき事業なのでしょうか。